

# 週間漁海況情報—第 25 号

平成 26 年 6 月 23 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

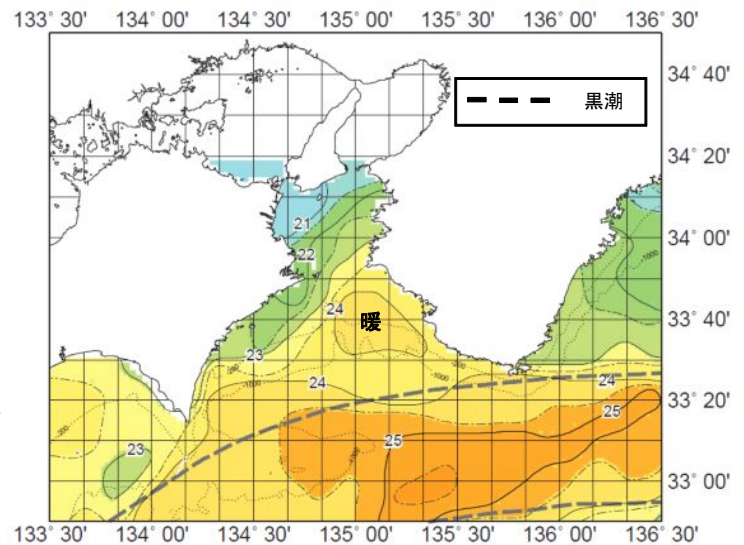
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.6.23）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。

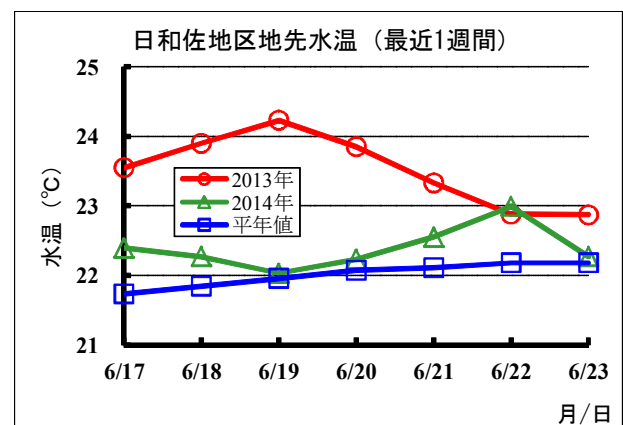
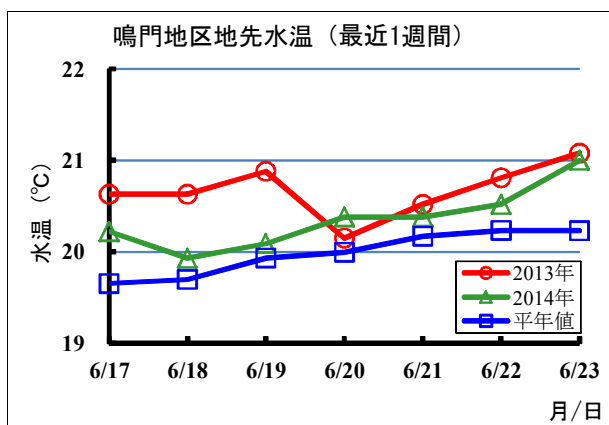
黒潮本流の表面水温は、24～25℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で20℃台、紀伊水道では20～23℃台、海部沿岸は21～23℃台である。紀伊水道外域では暖水域がある。



漁業調査船「とくしま」で6月12、16、19日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、0～10m層で「やや高め」の23.0～22.9℃、20～30m層で「高め」の22.7～22.3℃、50～100m層で「やや高め」の20.8～17.4℃であった。

### 海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
6/12, 16, 19	今年値	23.0	22.9	22.7	22.3	20.8	17.4	33.8	34.0	34.1	34.2	34.4	34.6
	平年偏差	1.2	1.4	1.5	1.7	1.4	0.7	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	0.0
	前年偏差	-0.7	0.1	0.2	0.1	-0.2	-0.7	-0.3	-0.2	-0.2	-0.2	-0.1	0.0



地先水温 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の19.9～21.0℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.0～23.0℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の22.7～24.0℃で推移した。

\* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で小主体にアカムツが0.7トン（1日1隻当たり21kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でマイワシが12.4トン（同166kg）、ウルメイワシが5.3トン（同97kg）、マメ主体にマアジが0.9トン（同18kg）、小小主体にサバ類が0.4トン（同12kg）、トビウオ類が0.3トン（同8kg）、アオリイカが0.2トン（同7kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸でイワシ類が16.6トン（同2,766kg）、小主体にマアジが0.3トン（同51kg）、マルソウダが0.8トン（同128kg）、シイラが11.4トン（同1,888kg）、イサキが0.3トン（同50kg）、小主体にスルメイカが0.2トン（同38kg）、平均重量60kgのクロマグロが0.4トン（同59kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で大主体にイサキが0.3トン（同5kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同8kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道でシラスが15.5トン（同250kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年6月16日～2014年6月22日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	33	694	21	小主体
小型定置網		マイワシ	75	12,432	166	
		ウルメイワシ	55	5,309	97	
		マアジ	47	865	18	マメ主体
		サバ類	35	403	12	小小主体
		トビウオ類	39	323	8	
		アオリイカ	36	236	7	
		大型定置網	イワシ類	6	16,594	2,766
マアジ			6	305	51	小主体
マルソウダ			6	769	128	
シイラ			6	11,326	1,888	
イサキ			6	298	50	
スルメイカ			6	225	38	小主体
クロマグロ			6	355	59	平均重量60kg
釣り	紀伊水道	イサキ	50	274	5	大主体
		タチウオ	35	267	8	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	62	15,500	250	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の6月17日～6月23日には、海部沿岸では、延縄で、中・小主体にアカムツが1.0トン、小型定置網で、マメ主体にマアジが0.3トン、マイワシが0.3トン、ウルメイワシが1.2トン、大型定置網で、イワシ類が0.4トン、マルソウダが1.5トン、大主体にシイラが0.8トン、釣りで、大・中主体にカツオが1.2トン、大主体にキハダマグロが4.1トン、紀伊水道では、パッチ網で、シラスが58.1トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の20～21℃台、日和佐地先で「平年並」の22～23℃台で推移する見込み。